

街角とあなたをネットする暮らしと文化の情報紙

まちかど

● 荏原第一地域新聞 ●

第188号

平成30年(2018)11月発行

発行・事務局

○荏原第一地域センター○

小山3-22-3 (〒142-0062)

TEL 3786-2000

FAX 3786-5385

防災への意識高める

荏原第一地区1000人が参加

品川区防災協議会・荏原第一地区協議会が主催する「平成30年度荏原第一地区総合防災訓練」が10月21日（日）に、林試の森公園の大きな広場で実施されました。

9時から行われた開会式では、小山台一丁目東町会の石津会長の司会のもと、小山一丁目町会の戸田会長より「地域の皆様の連携を一層強化する目的で臨んで頂くことで、より実践的な訓練になると思われます」と訓練開始宣言がなされ、訓練はスタートしました。

はじめに行われたのは、ローテーション訓練。応急救護コーナー、初期消火コーナー、体験コーナーをそれぞれ30分ずつ体験して回る訓練です。

応急救護コーナーでは、胸骨圧迫やAEDの使用方法を学びました。訓練参加者は、「胸骨圧迫は、想像以上に強い力が必要なので、実際に人に施すとすると少し怖いが、AEDの使用方法も学んだので、有事の際に役に立てたら嬉しい」と話していました。

初期消火コーナーでは、消火器やスタンバイパイプを使用した放水体験、体験コーナーでは、火災発生時の発煙を体験できる「煙ハウス」や、重量物を

花めぐり

ヤツデ



「天狗の葉団扇」をご存知ですか？「八手（ヤツデ）」の別称です。「八手」は福島以西、四国、九州辺りまで自生しています。高さは2～3メートルになり、葉には大きく7～9つの切れ込みがあります。それが掌の見える事から「八手（八は数が多いことを意味する）」と言われるようになりました。

葉や茎には痰を取り除く効果を持つ「サポニン」を多く含み、去痰薬の材料となります。葉は刻んでお風呂に入れると、リウマチに効果があるといわれています。

末広りの葉は縁起が良く大きくて丈夫なため、邪悪なものを防ぐとして、庭木として植えられることも多いそうです。天狗が大きな葉を扇いで、追い払ってくれるのかな？

(小山台2丁目町会・木村美智代)



区民消防隊による一斉放水訓練の様子

持ち上げることができる器具（ジャッキ）の体験などを行いました。その他にも、親子で楽しめるコーナーが設けられ、消防車・救急車との記念撮影や、屋内で火災が発生した場合を臨場感たつぷりに再現したVR（バーチャルリアリティ）体験装置などを、多くの子どもたちに体験してもらいました。

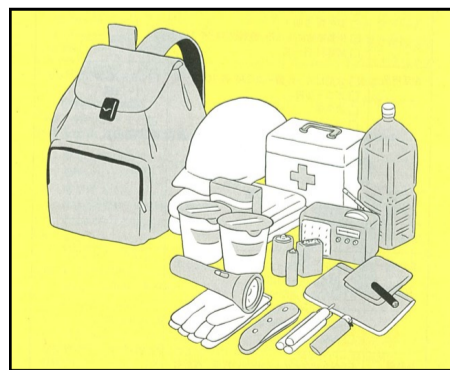
11時過ぎからは、一番の見どころである一斉放水訓練が行われました。スタンバイパイプ隊、ミニポンプ隊・区民消防隊、荏原第一中学校生徒、荏原消防団による一斉放水は圧巻で、会場には拍手が起りました。この訓練には、荏原第一管内の14町

防災☆ワンポイント

(東京都発行「東京防災」より)

●非常用持ち出し袋

避難した際、当面必要となる最小限の品を納めた袋が非常用持ち出し袋です。非常用持ち出し袋の中身は、それぞれ自分にとって必要な物を考え、準備することが重要です。それらをリュックなどに入れ、玄関の近くや寝室、車の中、物置などに配置しておけば、家が倒壊しても持ち出すことができます。



- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 毛布
- 電池
- 衣類
- 救急箱
- ナイフ
- 現金
- 貯金通帳
- 印鑑
- ライター
- ロウソク
- ヘルメット
- 防災頭巾
- 軍手
- 哺乳瓶
- 食品
- 水
- インスタントラーメン
- 缶切



東京防災の冊子

12月9日には区内一斉

【区内一斉防災訓練】

・日時/12月9日(日)

・会場/荏原第一中学校・荏原第六中学校・後地小学校・小山台小学校・スクエア荏原

詳細は、各町会または荏原第一地域センターまでお問い合わせください。(事務局)

秋のミニ運動会賑わう

荏原第一地区委員会

荏原第一地区委員会が実施する初秋の企画「みんなで遊ぶエバリンピック4」が、10月13日(土)にスクエア荏原で開催されました。

今年で4回目となるこの企画は、小学1～6年生を対象に実施するミニ運動会。今回は小山、小山台、後地小学校を中心とした子どもたち31名が参加しました。

時刻は10時20分。6チームに分かれてゲームはスタートしました。今年の種目は、昨年度に引き続きハワイアンリレー、ヘイカモン、×クイズ、そして新たにスプーンリレー、



「ヘイカモン」の様子

会のほか、荏原消防署、荏原警察署、荏原消防団などの関係機関も参加し、総勢約1000人の方々にご参加いただきました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

むかで競争を追加した全5種目。この中で最も過酷な種目といえばヘイカモン！1人ずつスタートし、20メートル先に立つ審判とじゃんけんをします。負ければチーム全員を「ヘイカモン！」と呼び、20メートルを往復します。チーム全員がじゃんけんにつまずき続けたため、ゲームに参加した大人たちはすっかり息を切らしてぐったり。そんな中、まだまだ走れるぞと言わんばかりの子どもたち。若さが光る種目となりました。

表彰式では、1位から最下位まですべてのチームに賞品が贈られました。最後に各チームで賞品を分け合い、今日の楽しかった思い出とたくさんのおみやげを手にし、嬉しそうに笑みを浮かべる子どもたちの姿に、企画・運営の地区委員も一安心でした。

終了後のアンケートでは、「楽しかった」「また参加したい！」「という声をたくさんいただきました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。またの参加をお待ちしています。(事務局)